

(別紙5)

整理番号 2017P-066
補助事業名 平成29年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人北海道対がん協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

胃肺併用X線デジタル検診車の更新整備を行い、医療過疎地を含めて北海道内を隈なく巡回し、がん検診の受診率の向上、早期がん発見率の向上に努め、北海道民の健康の保持増進に寄与することを目的としている。

(2) 実施内容

胃肺併用X線デジタル検診車「しらかば207号車」

【当協会ホームページ内URL】(<https://hokkaido-taigan.jp/keirin/>)

公益財団法人北海道対がん協会は、老朽化した胃・肺併用検診車の更新整備を計画していましたが、この度、平成30年2月21日付けで、新たな胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば207号車」を札幌がん検診センターに配置しました。

この検診車は、北海道内では、初めてのフラットパネル方式を用いた胃がん撮影装置を搭載しており、従来の撮影方式に比べ、画像の歪みやムラがなく鮮明になり、読影の精度が良くなることから、胃がんの早期発見が期待できます。

北海道内を隈なく巡回し、北海道民の健康の保持増進に努めていきます。がん検診の日程は、お住まいの市町村役場や保健センターで確認できます。検診で見つかるがんは約9割が早期のがんです。そのほとんどは、適切な治療で救命することができます。定期的にごがん検診を受診しましょう。

車体外観



搭載機器

胃部レントゲン装置



胸部レントゲン装置



事業名	平成 29 年度検診車の整備補助事業
整備内容	胃・肺併用X線デジタル検診車
	胃X線検診システム
	胸部X線検診システム
補助金額	31,000,000 円
自己資金	38,876,000 円
完了年月日	平成 30 年 2 月 21 日
車体	日野自動車(株) トラックシャーシ
	全長 10m82cm 全幅 2m49cm 全高 3m48cm 重量 15t480kg
架装	東京特殊車体(株)
X線装置	(株)日立製作所 ESPACIO AVANT

2 予想される事業実施効果

胃肺併用X線デジタル検診車が整備されたことで、円滑な巡回検診が可能となる。医療過疎地を含めた北海道内全域の地域住民の検診機会が担保されれば、がん検診の受診率、早期がんの発見率の向上につながり、早期がんの適切な治療により救命できる患者の増加が期待できる。

(別紙5)

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

北海道対がん協会機関紙「しらかば第79号」

【当協会ホームページ内URL】

<https://hokkaido-taigan.jp/wp-content/uploads/2012/06/shirakaba79.pdf>



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人北海道対がん協会

(コウエキザイダンホウジンホッカイドウタイガンキョウカイ)

住 所： 〒065-0026

北海道札幌市東区北26条東14丁目1番15号

代 表 者： 会長 長瀬 清 (カイチョウ ナガセキヨシ)

担 当 部 署： 経営管理部総務課総務係 (ケイエイカンリブソウムカソウムカカリ)

担 当 者 名： 総務係長 吉田 晃暢 (ソウムカカリチョウ ヨシダアキノブ)

電 話 番 号： 011-748-5511

F A X： 011-748-5512

E - m a i l： sp-soumu@hokkaido-taigan.jp

U R L： <https://hokkaido-taigan.jp/>